

計量経済学 受講上の注意 (2014 年度版)

担当者：河田 正樹

講義の目的と進め方

この科目は計量経済学の理論を習得することを目的とします。計量経済学の理論を習得するためには統計学についての知識が基礎となるので、この講義では**統計学を既に履修済みの学生を対象**として進めていきます。統計学に関する基礎知識の無い学生は、統計学の復習の講義(最初の数回をわりあてる)の際に、講義科目「統計学」のページなどを参考にしたりしながら、webclass 上に掲載されているものなどの、多数の演習問題を解き、補うようにしてください。

また、計量経済学を理解するには、実際のデータを使った分析をやる必要があります。そのため、表計算ソフト Excel や、統計ソフト R を用いたコンピュータを使った実習もおこないます。Excel の分析ツールが使えることが前提として講義を進めていきます。

この科目は教室における講義と、コンピュータ実習の組合せによって成り立っている科目で、その割合は**講義 7 割、実習 3 割**と考えておいてください。

- 講義形態：教科書・スライドを用いた講義と練習問題(理論面)、コンピュータ実習(実際のデータの分析)
- 出欠：毎回、目視で確認します。**出席不良者には、単位取得の見込みがないことを告知**することがあります。(コンピュータ実習において、出席不良者への対処が講義進行の妨げとなるので)
- 授業中のマナー：携帯はマナーモードにしてください。コンピュータ実習や練習問題の際に、隣の人との相談しながらやることはかまいませんが、説明のときの私語はつつしんでください。

成績評価について

冬季課題レポート(7 月初旬頃提出、50 点満点)と期末試験(50 点満点)の合計で評価します。普段の講義内容をきちんと理解できていないと、レポート・試験ともに対応できません。

優 80 点以上 良 70 点～79 点 可 60 点～69 点 不可 59 点以下

使用テキスト

次のテキストを使用します。

- 水野 勝之 (2005)『テキスト計量経済学[第 2 版]』中央経済社 3200 円+税

また、PowerPoint スライドと実習資料を講義用 HP に掲載するので、必要に応じてプリントアウトして用いてください。

質問等

講義時間中の疑問はその場で解決するようにしてください。わからないことがあったら遠慮なく聞いてください。

講義時間中以外に質問がある場合には、**514 研究室**を訪ねてみてください。また、オフィスアワーは月曜日の 3 限です。

また、e-mail での質問も随時受け付けています。アドレスは kawada@tokuyama-u.ac.jp です。

講義用ホームページ

事務連絡、関連 HP などのさまざまな情報を講義用 HP に掲載します。コンピュータ室や自宅から閲覧してください。

アドレスは <http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada> です。